



すずらん

たのもしく ただしく たくましく

天理市立福住小学校

第8号 令和元年12月10日

文責 神元 聡

12月

木守柿 (きもりがき)

師走の声を聞き、にわかにあわただしくなっていました。日が暮れるのも急に早くなっており、まさに釣瓶落としです。先日、山の辺の道を散策していると、ポツンと一個の残り柿が夕日を浴びている光景を目にしました。今年の収穫に感謝し、来年の豊作を祈念し神様に捧げるために、収穫を終えた柿の木に一つだけ残された木守柿です。こんなにも優しい風習が、日本にまだ残っていることにうれしく思いました。そのことを地域の方にお話ししていると、「井之市にも木守柿の風景があるよ。」と教えていただき、急いで行ってみましたが、もうなくなっていました。神様は木守柿を食べることはないのです、この柿は冬の間野鳥たちの貴重なえさになっているのです。里山では、こうして命が循環しています。里山と共生しながら生きてきた昔の人の知恵に改めて敬意を表しながら学校へ戻りました。



校内マラソン大会 11/27

朝から快晴に恵まれ、まさにマラソン大会日和でした。児童たちは、この日に向けて毎朝かけ足を続けてきました。9時50分、校長のスタートを合図に高学年から出発しました。みんなそれぞれの目標を胸に大会に臨んでいます。沿道には、たくさんのボランティアの皆さんが、応援に駆けつけてくださいました。地域ぐるみで行うマラソン大会になっています。お陰様で子どもたちは、それぞれに達成感をもって終えることができました。地域の温かさに感謝です。



平和学習報告会…6年生 12/2

6年生は、一年間をかけて戦争や平和について考えてきました。事前学習では、本やDVD、新聞等を中心に学習を進めていきました。最後の仕上げとして地域の方の戦争体験談をお聞きし、疑問点の解消に努めました。そして、戦争について自分の肌で感じ取るため、実際に原爆が投下されたヒロシマの街を被爆二世である岸本先生と回り、原爆ドームを見学し、平和についてじっくりと考える時間を持ちました。修学旅行後は、友達同士で語り合い、平和とは何かについて自分たちの考えを見つけていきました。本日は、この学習で分かったことを下学年に伝える報告会でした。プレゼンの仕方もさすが6年生。しっかりとみんなの心に届く、大変有意義な報告会となりました。



二つの「ふれあい集会」 11/16 12/6

「ホンモノ」とふれあうことのできる集会在、続けて2回開催されました。一つは、日本の古典芸能である三味線とのふれあい。もう一つは、視力を失ったピアニスト市川純也さんとのふれあいでした。自分の目で見て体験し、感じたことを大事にして、これからの人生で、様々なことにチャレンジしていく「福住っこ」に成長してくれることを期待しています。

